

# 「まわしよみ新聞」披露



学校教育に新聞を活用する取り組みを推進している

滋賀県NIE推進協議会の今年度実践指定校の県立栗東高校（栗東市小野）で公開授業が行われ、美術科3年生の38人が、「持続可能な開発目標（SDGs）」をテーマに班ごとに新聞記事を切り抜いて貼るなどして作製した「まわしよみ新聞」を披露した。

「まわしよみ新聞」は、新聞を読んで興味を持った記事を切り抜いてグループで討論しながら壁新聞を作る遊び感覚の共同作業。同校では今年度、美術科3年



SDGsをテーマに作製した「まわしよみ新聞」を披露する生徒たち

― 栗東市の県立栗東高校

の国語の授業で実施している。この日までの授業で、3〜4人の班ごとに国連が掲げるSDGsの17の目標から自然、まちづくり、平等、経済、平和に関するものを選び、新聞記事を切り抜いて壁新聞を作製した。

公開授業で生徒たちは別に壁新聞を披露。「人は気候変動に勝てないので災害への対策を立てなければならぬ」「男女平等のためにはステレオタイプ（先入観、偏見）をなくさないといけない」などと新聞を読んで大切に思ったことなどを発表した。講師役の松田規久子・京都新聞滋賀支社編集部長は「美術科生徒らしくデザイン性に優れていた。今後も新聞を読んでほしい」などと講評した。

滋賀県NIE推進協議会は、県教委幹部ら教育関係者や、産経新聞など県内の新聞、通信各社代表らで組織している。同校では24日にも、同協議会から派遣された記者を講師にした授業が行われる。